



www.hoseinet.or.jp
(法政大学校友会 HP)

ORANGE JOURNAL

法政大学 校友会報

よき師 よき友 つどひ結べり

Published by 一般社団法人 法政大学校友会

発行人：竹中 宣雄（校友会会長） 編集人：坂戸 俊夫（校友会副会長）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4 階

TEL：03-3264-1831 FAX：03-3264-4770 E-mail：jimukyoku@hoseinet.or.jp

第 20 号（通算427号）

目次

年頭挨拶	P 1
原昌宏氏名誉博士号授与	P 2
進取の気象 玉森慶三さん	P 8
特集「法曹界で活躍する卒業生」	P 9
法政スポーツ 注目の選手たち	P10
法政スポーツを支援してくださる篤志家	P11
第29回全国卒業生の集い 倉敷大会	P12

2024年 年頭挨拶



竹中宣雄会長

全国50万人の法政大学卒業生の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は多くの行事が対面による実活動を再開し、対面とオンライン併用によるハイブリッドでの活動も定着しました。昨年1月に開催された「2023年オー

ル法政新年を祝う会」では、「持続可能な社会を実現するための『価値』創造」をテーマに、菅前総理によるカーボンニュートラル宣言

9月には「第22回オー ル法政ゴルフ大会」総長杯を千葉県キング フィールズゴルフクラブで4年ぶりに再開。11月には



廣瀬克哉総長

明けましておめでとうございます。2020年春に入学してきた学年がいよいよ今年卒業を迎えます。在宅のオンライン授業で大学生活をスタートした学生たちが、卒業前の本年度は、ほぼコロナ前の状態を取り

戻したキャンパスライフを過ごすことができました。さまざまな場面でも「いつも通り」が通用しない大学生生活を、自分ごととして体験した学生たちが、それを乗り越えてきた経験を生かし、社会で活躍していくこ

とを期待しています。法政大学では現在、学部横断型の教育と、社会連携教育の強化に取り組んでいます。全ての学部の学生が、数理・データサイエンス・AIプログラム（MDAP）を履修することができ

ます。基礎（リテラシーレベル）、応用基礎の2レベルで文科省の認定を得ており、自分の専攻する専門分野に加えてデータ分析やAIを活用して課題解決が出来る力を身に付けていくようになっています。また、SDGsやダイバーシティ、アーバンデザインな

ソシウムが発足しています。これからの活動には、学外のパートナーのみなさんのご協力が必要です。法政大学校友会の皆様には、大学の社会連携活動のさらなる展開の中でご協力をお願いする場面がこれまで以上に増えてくるのではないかと考えています。後輩学生たちが社会連携教育を通して、これらの社会が直面する困難な課題に取り組んでいく「実践知」を育んでいくよう、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

法政大学総長 廣瀬 克哉

とを期待しています。法政大学では現在、学部横断型の教育と、社会連携教育の強化に取り組んでいます。全ての学部の学生が、数理・データサイエンス・AIプログラム（MDAP）を履修することができ

ます。基礎（リテラシーレベル）、応用基礎の2レベルで文科省の認定を得ており、自分の専攻する専門分野に加えてデータ分析やAIを活用して課題解決が出来る力を身に付けていくようになっています。また、SDGsやダイバーシティ、アーバンデザインな

ソシウムが発足しています。これからの活動には、学外のパートナーのみなさんのご協力が必要です。法政大学校友会の皆様には、大学の社会連携活動のさらなる展開の中でご協力をお願いする場面がこれまで以上に増えてくるのではないかと考えています。後輩学生たちが社会連携教育を通して、これらの社会が直面する困難な課題に取り組んでいく「実践知」を育んでいくよう、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

法政大学総長 廣瀬 克哉

国内の少子化・人口減少は加速度的に進み、大学を取り巻く環境はさらに厳しくなることが予想されます。そのような中、校友会では若手会員のパートナー組織への移籍ルールの緩和や、女性活躍推進、校友会の会館施設の在り方を検討するなど、様々な課題に取り組むと同時に、大学支援にも力を入れていきます。

今年度、目標額を増やした「校友会奨学金」「校友会箱根駅伝応援募金」は継続して参ります。

法政大学卒業生の皆様と母校・法政大学のますますの発展を祈念申し上げます。一般社団法人 法政大学校友会会長 竹中 宣雄



法政大学台湾校友会の訪問団が母校を訪れた

法政大学台湾校友会の訪問団が母校を訪れた。訪問団は、法政大学を卒業したという背景と台湾人の日本に対する深い愛情を基に築かれたもので、法政大学の縁で交流することにより深い友情を育んでいます。この絆は、同じ大学を卒業したという背景と台湾人の日本に対する深い愛情を基に築かれたもので、法政大学の縁で交流することにより深い友情を育んでいます。



文・台湾校友会 理事長 86年社卒 廖松岳 総幹事 18年院修了 陳伯材

台湾校友会からのメッセージ

法政大学台湾校友会は、日本留学経験を持ち、元気が旺盛な卒業生のグループで、法政大学の縁で交流することにより深い友情を育んでいます。この絆は、同じ大学を卒業したという背景と台湾人の日本に対する深い愛情を基に築かれたもので、法政大学の縁で交流することにより深い友情を育んでいます。

今年度の目標は、しばらく連絡が取れていない会員、未入会の方や台湾在住の法政関係の日本友人にも参加していただき、様々な活動を行い、皆の志と豊富な職務経験を集結することです。

現在、会員の皆様は多忙の中、熱意をもって、積極的に活動していただいています。皆様の参加が当会のパワーの源となり、より強大な法政大学台湾校友会を築き上げること

のです。先輩と後輩は非常に仲が良く、素敵な関係を続けています。卒業後、お互いのコミュニケーションの場となり、仕事の経験など様々な分野で共有し、豊富な知識を吸収し、更に団結しています。

法政大学台湾校友会は、友情、専門性、才能を集結したファミリーです。台湾と日本の友好関係に貢献し、日本法政大学の精神を台湾でも発揚していきます。

10月26日、秋晴れのもと、台湾校友会の訪問団20名の方が母校・法政大学を訪ねました。大学説明、学食体験、法政ミュージアムなどキャンパスツアーの後、廖会長他代表者4名が、竹中校友会長、キャリア体験学習で台湾校友会と交流のあるキャリアデザイン学部の荒川学部長とともに、廣瀬

総長を表敬訪問した。その後、参加者全員で記念撮影を行い、次の目的地である山中湖に向かった。表敬訪問では、廖理事長から台湾からの留学生を増やすための協力は惜しまないこと、総長の台湾訪問を待ち望んでいるなどの話があり、終始和やかな訪問となった。

文・名誉教授 笹川孝一

法政大学 台湾校友会 母校訪問



法政大学 理系コンソーシアム

2023年9月1日 誕生

法政大学理系コンソーシアム設立準備委員会委員長
理工学部長 伊藤一之

ごあいさつ

次世代を担う理工系人材の育成を目的として、2023年9月1日、法政大学理系コンソーシアムが誕生しました。

世界は産業革命以来の大転換期を迎え、AIをはじめとする情報技術から、ロボットやドローン、自動運転、宇宙開発に至るまで、広範囲にわたって同時多発的な技術革新が起こり、我々を取り巻く環境は、大きく、そして加速度的に変わりつつあります。

そのため、この新しい時代にふさわしい、広い視野と柔軟な思考力・発想力を持った人材の育成が求められています。

理系では、企業様、地方自治体様と共に、法政大学理系コンソーシアムを設立し、本学同窓生の支援のもと、次世代を担う人材を育成すべく、学生の活動を強力にサポートして参ります。

具体的には、奨学金をはじめとする就学支援から卒業後のキャリア形成に至るまで、一貫したサポート体制を構築するとともに、実社会との接点をもち、新しい課題に向けて様々な形でチャレンジできる環境を整備いたします。そして、日本全国ならびに世界各地から高い志を持った人材を集め、最先端の科学技術の修得に加え、日本の文化を深

く理解し日本の強みを活かすことのできる人材、ならびに、様々な国や地域の文化を尊重し、異なるバックグラウンドを持つ人々と力を合わせて事業を成すことのできる人材へと育て、日本全国ならびに世界各地へと送り出して参ります。

本コンソーシアムの今後の活動にご期待頂くとともに、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



キャリア相談会



原さん(左)と廣瀬総長



鏡開き

設立記念式典・
祝賀会開催報告

9月15日に、小金井キャンパスにてホームカミングデーが開催され、キャリア相談会、名誉博士号学位授与式・記念講演会、理系コンソーシアム設立記念式典が執り行われました。

キャリア相談会は、理系コンソーシアムのメインイベントの一つであり、卒業生や企業様のご協力のもと、学生の就職やキャリア形成を強力にサポートしていく試みです。今回は、約50社100名の企業様、ならびに、約250名の学生

諸君にご参加頂き、大変盛況な相談会となりました。当日名誉博士号を授与された原昌宏さんによる記念講演会では、日常のひらめきが発明につながったことなど、発明者ならではの大変興味深いお話を伺うことが出来ました。この

その後執り行われた祝賀会には約500名もの皆様にご参加頂き、この門出を盛大にお祝いすることができました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

QRコード生みの親 原昌宏氏 法政大学名誉博士号授与

法政大学はQRコードの開発と世界的普及に貢献し、第113回(令和5年)

恩賜賞並びに学士院賞を受賞した原昌宏氏(工学部電気工学科卒業)に対してそ



授与式並びに祝賀会は廣瀬総長はじめ数多くの関係者が参加して、2023年9月15日法政大学小金井

の多大なる功績を称え廣瀬克哉総長より「法政大学名誉博士号(工学)」を授与した。(写真)

なお原氏は2014年に、日本人で初めて、欧州特許庁から欧州発明家賞を受賞している。

その後デンソーの開発部門が分社化し(株)デンソーウェーブとなる。原氏は1992年より新たなコードの開発をスタート、1994年にマトリックス型2次元コード・QRコー

キャンパス・理工学部において、法政大学自主マスコミ講座所属、文学部地理学科4年の、田口詩織さんの司会で行われた。

原氏は1980年に法政大学工学部電気工学科を卒業後、日本電装(株)(現デンソー)に入社した。

自動車生産ラインでの読み取り、航空券、入場券、乗車券などのQRコード化、マスコミ業界では多くのTV局がQRコードを画面に提示して、自らのメディアであるテレビ放送と

ドを発明、特許権を取得するも、この特許を自社だけの権利として独占せずオープンソースとして開放した。その結果、一気に広く普及し、データ読み取りや店頭決済用コードとして世界中で多用されるようになった。

QRコードの利用範囲と利便性は今後、益々拡大していく。

原氏は現在(株)デンソーウェーブで主任技術者を務めている。

(広報委員 石毛利雄)

2023年度予算について・2022年度決算について

2023年度予算(正味財産増減計算ベース)			
2023年4月1日から2024年3月31日まで			
科 目	当年度	前年度	増減
正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	195,000,000	198,705,000	△3,705,000
新卒終身会費	180,000,000	190,320,000	△10,320,000
既卒終身会費	15,000,000	8,385,000	6,615,000
事業収益			
事業収益計	29,000,000	20,607,597	8,392,403
受取寄付金	100,000	0	100,000
雑収益他	1,000,000	1,245,639	△245,639
経常収益計	225,100,000	220,558,236	4,541,764
(2)経常費用			
事業費			
事業費計	31,500,000	22,286,820	9,213,180
管理費			
管理費計	72,335,000	61,609,835	10,725,165
経常費用計	103,835,000	83,896,655	19,938,345
当期経常増減額	121,265,000	136,661,581	△15,396,581
当期一般正味財産増減額	121,265,000	136,661,581	△15,396,581

2022年度正味財産増減計算書			
2022年4月1日から2023年3月31日まで			
科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	198,705,000	213,975,000	△15270000
新卒終身会費	190,320,000	208,740,000	△18,420,000
既卒終身会費	8,385,000	5,235,000	3,150,000
事業収益	20,607,597	3,218,345	17,389,252
受取寄付金	0	0	0
雑収益	1,245,639	1,128,022	117,617
経常収益計	220,558,236	218,321,367	2,236,869
(2)経常費用			
事業費	22,286,820	3,942,265	18,344,555
管理費	61,609,835	59,292,364	2,317,471
経常費用計	83,896,655	63,234,629	20,662,026
当期経常増減額	136,661,581	155,086,738	△18,425,157
当期一般正味財産増減額	136,661,581	155,086,738	△18,425,157
一般正味財産期首残高	1,171,434,732	1,016,347,994	155,086,738
一般正味財産期末残高	1,308,096,313	1,171,434,732	136,661,581
正味財産期末残高	1,308,096,313	1,171,434,732	136,661,581

2022年度 貸借対照表			
2023年3月31日現在			
科 目	当年度	前年度	増減
I資産の部			
流動資産合計	358,161,671	364,394,323	△6,232,652
固定資産			
特定資産合計	1,161,129,500	1,027,421,500	133,708,000
固定資産合計	1,161,129,500	1,027,421,500	133,708,000
資産合計	1,519,291,171	1,391,815,823	127,475,348
II負債の部			
流動負債合計	211,194,858	220,381,091	△9,186,233
負債合計	211,194,858	220,381,091	△9,186,233
III正味財産の部	1,308,096,313	1,171,434,732	136,661,581
負債及び正味財産合計	1,519,291,171	1,391,815,823	127,475,348

“法政おおわが母校”を卒業して幾年。各方面で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。

SERIES

校友会紹介

石川県校友会

法政大学石川県校友会支部総会

法政大学石川県校友会は、8月の令和5年度総会が、19日（土）、金沢市の金沢ニューグランドホテルで45人が出席して開催された。

第1部は講演会が開催され、北市博之幹事長が司会を務めた。今年の箱根駅伝で見事7位でシード権を獲得した法政大学陸上競技部の坪田智夫監督が「法政の未来は箱根駅伝の現状と課題」と題して講演された。「箱根駅伝」での成績、順位も大事だが、学生を一人の人間として、しっかり育てる」と育英方針等について話された。

総会では、鳥越作英氏（平成15年卒・大一家具社長）が司会を務め、塚本幹雄会長（昭和48年卒・コマーニ会長）の挨拶、北市博之幹事長（昭和59年卒・北市漆器店社長）が議案を報告、承認された。

懇親会に入り、塚本幹雄会長の挨拶、平山喜雄常務理事が大学の近況報告、校友会の田中利幸副会長（昭和58年卒・応援団OB OG会会長）が全国の校友会の情報を述べた後、赤澤信秀氏（昭和59年卒・元北國銀行の嘉野聖大氏（令和元年

行執行役員）が乾杯の発声。松井幹夫富山県校友会会長（昭和39年卒・元富山市商工労働部長）が挨拶され、富山県では、「東京六大学合同の校友会を毎年、盛大に開催している」と、報告があった。

そして、今春、統一地方選を勝ち抜いた亀田豊石川県議（平成10年卒・能美市能美郡、竹田良平石川県議（平成23年卒・小松市）が抱負を述べ、卯野修三能美市議（昭和56年卒）が近況を報告した。なお、参加の最高齢は、昭和35年卒の浅野達氏だった。

また、令和の卒業生も二人の出席があり、元吹奏楽部の嘉野聖大氏（令和元年卒）が、神宮球場の六大学野球を思い出して、「学生注目！」を行い、場内大爆笑で盛り上がった。

最後は、卯野修三監事が得意の謎かけを披露しながらリーダーを務めて法政大学校歌を全員で大きな輪になって歌い上げた。

元法政大学応援団の沢飯一郎氏（昭和41年卒）のリードで、「フレイ！フレイ！法政」と田中利幸副会長（昭和58年卒・応援団OB OG会会長のリードで「フレイ！フレイ！坪田」「がんばれ！がんばれ！箱根」のダブルエールで、幕を閉じ、今後の母校法政大学への支援と箱根駅伝の応援を確認した。

（監事 卯野修三）



卒）が、神宮球場の六大学野球を思い出して、「学生注目！」を行い、場内大爆笑で盛り上がった。

最後は、卯野修三監事が得意の謎かけを披露しながらリーダーを務めて法政大学校歌を全員で大きな輪になって歌い上げた。

元法政大学応援団の沢飯一郎氏（昭和41年卒）のリードで、「フレイ！フレイ！法政」と田中利幸副会長（昭和58年卒・応援団OB OG会会長のリードで「フレイ！フレイ！坪田」「がんばれ！がんばれ！箱根」のダブルエールで、幕を閉じ、今後の母校法政大学への支援と箱根駅伝の応援を確認した。

（監事 卯野修三）



最後に、参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱し、盛会の内に幕を閉じた。（参加者は総勢77名）

（事務局長 青山哲也）



【5面（つ）】
せんだみつおさん

文学部同窓会

「実篤公園」を訪ねる

文学部同窓会では、「特別企画」として、毎年、春と秋に都内・近郊散策を行っています。

11月10日（金）、本会の井坂義雄元会長（法政大学名誉教授）にご参加いただき、調布市の「実篤公園」を訪ねました。



実篤公園で（左から4人目が井坂元会長）

晩年の約20年間を過ごした自宅（現存）と庭園を公園にした所です。

武者小路実篤は人道主義・理想主義を唱えた「白樺派」の中心的存在として、『友情』『愛と死』などの小説や戯曲を執筆することにも、多くの絵画を描き、理想郷をめざして宮崎県や埼玉に建設した「新しき村」（村落共同体）の運営にも力を注ぎました。

対面での定期幹事総会ならびに4年ぶりのオレンジの集いが開催される

2023年度、経済学部同窓会定期幹事総会・「オレンジの集い」が、6月3日（土）に行われました。

まずは、約40名が出席して定期幹事総会が行われ、続いて経済学部教授会との共催で「オレンジの集い」が行われました。ただ、コロナの影響が完全に収まっていなかったことに配慮し、従



来立食パーティーではなく、着座形式となりました。同窓会が学生代表の植田臨太郎さんが務め、村田紀敏会長や来賓の挨拶のあと、経済学部長の竹口圭輔先生から、「コロナ禍を経た経済学部の今これから」という演題での講演がありました。

竹口先生からは、コロナ禍を抜けての希望が語られた一方、それまでコロナ対策でオンラインだったのが急に対面になり、人間関係などで悩む学生が、以前では考えられないほど増え、どの大学でも相談室は予約待ちの状態、法政大学も例外ではないとの報告が印象的でした。

（嶋 崇）

理系同窓会

理系同窓会ホームカミングデー2023実施しました

記録的な猛暑の勢いが収まらない9月15日（金）、理系同窓会では4年ぶりに会食を伴うホームカミングデー2023を盛況に実施



（理系同窓会事務局 安田彰）

理系同窓会ホームページ <http://133.25.196.100/>

富山県校友

令和5年度法政大学富山県校友の集い

令和5年8月26日（土）、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において「法政大学富山県校友の集い」が開催された。

この校友の集いは、オール法政の力を結集し法政の名を高めることを目的に、平成26年から後援会富山県支部との共催により公開講演会と懇親会を行っている。

総会では、令和4年度事業報告として、モンゴルのサッカーナショナルチームの監督に就任した大塚一朗氏（S62法卒）の激励会を開催したことなど、実施事業の内容及び収支決算を報告するとともに、令和5年

度事業計画と収支予算が審議され、いずれも全会一致で承認された。

公開講演会には、講師として法政大学社会学部教授の澤村伸氏を招いた。「南極・昭和基地で過ごした一年」の演題で行われた講演には、校友会員、後援会員はもとより、多くの一般聴講者も詰めかけ、約100名が耳を傾けた。

懇親会では、当校友会の松井幹夫会長から「母校の知名度を上げる社会的評価を高めるために、各々の立場から母校に貢献しよう」という趣旨の挨拶があった。

続いて、来賓の佐野哲夫常務理事からは、大学の近況について、竹中宣雄校友会長からは、校友会を取り巻く現況と課題等について語られた後、石川県校友会の塚本幹雄会長、野球教室で来県中の法政野球倶楽部の小早川毅彦会長等からも挨拶をいただいた。歓談の間には、野球部OBで当校友会常任相談役の吉田義夫氏より法政野球倶楽部の紹介が行われるなど、地域や世代を越えた校友同士の親睦が深められた。

最後に、参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱し、盛会の内に幕を閉じた。（参加者は総勢77名）

（事務局長 青山哲也）

法政中高同窓会

法政大学高等学校同窓会総会開かれる

7月29日（土）法政大学中学高等学校オレンジホールにて2023年度の同窓会総会を開催しました。

冒頭、高村会長より、3年間コロナ禍で満足な活動ができなかったものの「同窓会奨学金設立」等の報告、時流にあった女性、男性の隔たりがない「性差を超えて楽しめる同窓会」を展開していくことの力強い挨拶でスタート。議事進行は出席者の温かい支援もあり審議はすべて満場一致で承認されました。続いて松浦校長より「生徒と保護者と教職員のみならず対話をして発展させる学校」についての映像を織り交ぜながらお話しいただき、熱い思いを知ることができました。

懇親会は食堂に会場を移し美しく盛り付けられたお弁当にみんなで舌鼓。しばしの歓談の後には同窓生でもあるエンターテイナー、18期卒業生の「せんだみつお」さんによるトークショー。

半世紀を超える芸歴で培われた軽妙な話術に参加者全員が引き込まれ時間が経つのを忘れていた。

秋田支部

みちのく校友会「秋田大会」、秋晴れのもと開催！

第29回法政大学みちのく校友会秋田大会が10月14日に秋田市で開催されました。東北6県の校友会が持ち回りで運営上の課題や問題点を話し合い、親睦を深めることが目的の大会で、本学より副学長タイアナ・コー先生、校友会からは竹中宣雄会長、池谷文雄副会長の臨席を頂きました。



「校歌斉唱とエール」で会場が大きな輪となり肩を組んで声高らかに「若き我がが響き渡りました。そして今年10月開催の「全国卒業生の集い 秋田大会」での再会を誓い大きな余韻を残してお開きとなりました。各地の校友の皆様ににおかれましては「美の国 秋田」に是非お越しください。

愛知県校友会

愛知県校友会 第16回総会について

コロナ禍が明け、4年ぶりに令和5年7月1日土曜日、法政大学校友会愛知県校友会第15回講演会及び総会・懇親会を開催いたしました。法政大学から金井副学長、法政大学校友会から田崎副会長にご臨席を賜り、年齢層も今年卒業された方から90歳の先輩方と幅広い年齢層の約90名の法友にご参加いただき、盛大に開催いたしました。令和5年3月13日に恩賜賞・日本学士院賞を受賞され、9月15日に法政大学名誉博士号を授与されましたQR

沖縄県校友会

令和5年度総会・懇親会を開催

今年度の総会・懇親会が、8月12日、ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で開催されました。総会では、新垣淑博副幹事長が司会を務め、糸数淳会長の挨拶の後、議事進行、前年度の事業報告、決算の承認、今年度の事業計画、予算案が全会一致で承認されました。

鈴木洋一幹事長から、校友会定時総会の報告、「校友会奨学金」、「箱根駅伝応援募金」への協力が呼びかけられました。糸数会長から、今年度の重点目標達成のため、①会員職業のデータ化、②若い世代のためのキャリアアップセミナー開催、③校友会会員の絆を強めるため総会後の懇親会内容の充実を図る等の説明がありました。



蛭集めむ外濠の再生を

デザイン工学部 教授 福井恒明



多世代での議論が実現した外濠市民塾ワークショップ

本校校歌に「蛭集めむ門の外堀」と歌われる江戸城外濠は、国の史跡に指定される文化財であると共に都心の貴重な水空間となっています。江戸城の外濠の多くは埋め立てが進みましたが、市ヶ谷外濠・新見附外濠・牛込外濠の水面は今でも水都東京を偲ばせます。しかし、水源不足や下水道からの流入によって水質は悪化し、その歴史的な重要性や水空間としての魅力はあまり注目されてきませんでした。

2012年に陣内秀信先生を中心とする法政大学エコ地域デザイン研究所(当時)のメンバーが「外濠―江戸東京の水回廊―(鹿島出版会)に外濠に関する研究成果をまとめました。私は本学に着任したばかりでしたが、この成果を地域に展開すべく陣内先生のご指導のもとで「外濠市民塾」を立ち上げました。

メンバーは本学や東京理科大学の先生や学生、地元企業である大日本印刷の方々から始まり、東京都立大学や日本大学の学生も加わりました。

まち歩きを重ねて現場で地域の魅力を発見し、セミナーで研究成果を共有しました。地域の方々を含めたワークショップを重ね、本学に隣接する三輪田学園の高校生から地域の町会や商店会の方々まで、多様な世代が参加して議論を行いました。その結果「外濠をこんなふうに使いたい」というアイデアがたくさん出てきました。物理的な計画の前に、どんな価値を作りたいかという議論になったのがよかったのかもしれない。

これらの成果を学生が「外濠四季絵巻」というイラストにまとめてくれました。さらに「外濠再生憲章」を作成し、1636年の外濠開削から400周年に向けた「外濠 vision 2036」としてまとめました。加えて本学・東京理科大学・中央大の総長・学長連名で小池百合子東京都知事に対し「外濠・日本橋川の水質浄化と玉川上水・分水網の保全再生について」という提言書を提出しました。東京の西側の水系全体の浄化と災害時に自然流下による防火用水確保を趣旨とするものです。その後公表された東京都の長期計画『未来の東京』戦略ビジョンに外濠浄化が記載される一助となったものと思われま。

コロナ禍で外濠市民塾の活動は制約され、一般向けのイベントは差し控えて来ましたが、学生の間では内部の勉強会で知識を共有し、今年から再始動をはじめます。目指すは水質改善と空間の改善、その時に外濠の価値を活かせる文化、その担い手となる地域社会の構築です。ぜひ校友の皆様も外濠市民塾の活動にご参加いただければと存じます。

謹賀新年



卒業生の皆様
本年もよろしくお願ひします



法政大学校友会名誉会長 法政大学 総 長 廣 瀬 克 哉 法政大学校友会 会 長 竹 中 宣 雄 法政大学2号評議員 社会学部 1972年卒 法政大学校友会 副会長 田 崎 稔 経済学部 1979年卒	法政大学校友会副会長 法政大学応援団OBORG会 会 長 田 中 利 幸 経営学部 1982年卒 法政大学 常務理事 小 澤 雄 司 社会学部 1986年卒	法政大学 常務理事 金 井 敦 法政大学 副学長 和 仁 達 郎 法政大学 常務理事 副学長 山 寄 正 俊 弁護士 法政大学校友会監事 経済学部 1974年卒	法政大学校友会 公認会計士法友会 監 事 飯 塚 昇 経営学部 1974年卒 法政大学 常務理事 副学長 岩 崎 晋 也 法政大学 常務理事 副学長 ダイアナ・コー 法政大学校友会 監 事 発 地 敏 彦 発地敏彦税理士事務所 経営学部 1976年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 大 森 廣 行 経営学部 1970年卒 法政大学 常務理事 副学長 平 山 喜 雄 法政大学 常務理事 副学長 岩 崎 晋 也 法政大学校友会 監 事 田 中 修 司 法政大学法人統括本部長 経済学部 1989年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 中 村 寿 美 子 法学部 1981年卒 法政大学 監 事 伊 藤 昌 子 法政大学後援会事務局長 法政大学校友会 名誉顧問 桑 野 秀 光 法学部 1960年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 石 渡 洋 行 法学部 1983年卒 法政大学 常務理事 副学長 小 秋 元 段 法政大学校友会顧問 法政大学校友会北海道ブロック 理 事 西 岡 憲 廣 札幌山の手の高等学校理事・校長 法学部 1963年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 岡 本 眞 司 経営学部 1970年卒 法政大学 常務理事 副学長 佐 野 哲 法政大学校友会顧問・北信ブロック理事 富山県校友会 会 長 松 井 幹 夫 法学部 1964年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 池 谷 文 雄 法学部 1980年卒
--	--	--	--	--	---	--	---	--

賀 春

一般財団法人 法政大学経営者懇談会

これからの日本を背負うのは中小企業の経営者達です。企業経営者、学生経営者、起業家、後継者たちが会員です。幅広い業界、校友をはじめとして有意義な活動と一緒にしませんか！入会をお待ちしています。

代表理事 金子正之

ご入会お問い合わせは以下事務局まで

〒175-0083 東京都板橋区徳丸4-11-2 中尾建設工業(株)内

Mail: hoseikeieisya@gmail.com

Web: http://hosei-keieisya.com/

迎 春



法政大学後援会

～子どもの母校は我が母校～

〒102-0073

東京都千代田区九段北3-2-3

法政大学九段校舎4階

TEL. 03-3264-9392

FAX. 03-3264-9367

E-mail: koenkai@hosei.ac.jp

URL: https://www.hosei-koenkai.org/

謹賀新年

法政財界人倶楽部

法政財界人倶楽部は設立30周年を迎えます。

上場企業の「役員・執行役員」会員(現在260名)に加え、「部長職・課長職」会員(現在150名)の入会も受け付け中です。

法政財界人倶楽部事務局まで申し込み連絡をください。

会 長 村田 紀敏 昭和41年卒

(株)セブン&アイ・ホールディングス 元COO兼代表取締役社長

連絡先 法政財界人倶楽部事務局 副会長 佐々木郁夫

TEL 03-3369-0804 担当 齋藤・道山・矢賀部

法政財界人倶楽部 会 長 村 田 紀 敏 (株)セブン&アイ・ホールディングス 元COO兼代表取締役社長	法政財界人倶楽部 副会長 山 口 学 (株)関電工 元取締役会長	法政財界人倶楽部 副会長 田 邊 光 雄 信金中央金庫 相談役	法政財界人倶楽部 副会長 竹 中 宣 雄 ミサワホーム(株) 元代表取締役会長	法政財界人倶楽部 副会長 堰 八 義 博 (株)北海道銀行 特別顧問	法政財界人倶楽部 副会長 瀧 澤 利 一 (株)バルカー 代表取締役会長CEO	法政財界人倶楽部 副会長 佐 々 木 郁 夫 (株)日本共同システム 代表取締役会長
--	--	---	---	--	---	--

法政大学校友会顧問 大阪府校友会 名誉会長 樋口正蔵 法学部1962年卒	法政大学校友会近畿ブロック理事 滋賀県校友会 会長 外池國夫 経営学部1976年卒	法政大学校友会スポーツ第1ブロック理事 法政大学体育会アメリカンフットボール部OB・OG会 大橋佳哉 法学部1989年卒	京都府校友会 会長 仲村哲 法学部1961年卒	法友野球倶楽部 会長 小早川毅彦 経営学部2004年卒	法政大学校友会会計人会 会長 高田住男
法政大学校友会 顧問 井上泰一 法学部1969年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会中国ブロック 理事 梅野洋司 法学部1982年卒	法政大学女子・国際高等学校同窓会 会長 中村美津江	あけましておめでとうございます 奈良県校友会役員一同	法政大学体育会自動車部OB・OG会 会長 岩瀬仁 経営学部1973年卒	建設・不動産鑑定会 会長 柳 済龍 経済学部1975年卒
法政大学理事 法政大学校友会顧問 小林清宣 法学部1975年卒	法政大学校友会四国ブロック理事 愛媛県校友会 会長 渡辺易廣 工学部1975年卒	秋田県校友会 会長 渡邊光 社会学部1979年卒	大阪府校友会 会長 上野隆祥 経営学部1973年卒	法政大学体育会空手部拳友会 会長 鈴木秀秋	法泳会 会長 春木亮一
法政大学校友会 顧問 石塚護 法学部1968年卒	法政大学校友会南九州ブロック 理事 鈴木洋一 経済学部1978年卒	山形県校友会 会長 後藤和雄 経済学部1981年卒	和歌山県校友会 会長 大岩徳成 経済学部1987年卒	工体連OB・OG会 会長 土居通明 工学部1984年卒	法政大学富士見射友会 会長 奥山裕一 経営学部1977年卒
法政大学校友会南東北ブロック理事 宮城県校友会 会長 尾町雅文 経済学部1976年卒	法政大学校友会学部同窓会ブロック理事 神奈川県校友会監事 理系同窓会相談役 岡本眞 工学部1970年卒	法政大学2号評議員 福井県校友会 会長 北川頼子 経営学部1975年卒	岡山県校友会 会長 西康宏 経営学部1979年卒	文化・フジタオレンジ法友会会長 文化シヤッター株式会社 代表取締役 会長 潮崎敏彦 経済学部1970年卒	交響楽団一九二一年創立 法政大学交響楽団 OB・OG会 法政大学中小企業診断士オレンジ会 会長 内藤博 経済学部1974年卒
法政大学校友会関越ブロック理事 埼玉県校友会 会長 大井巳喜彦 経済学部1964年卒	法政大学校友会付属校ブロック理事 法政大学高等学校同窓会 会長 高村嘉昭 経済学部1970年卒	茨城県校友会 会長 木村眞 水戸法友会会長 経済学部1962年卒	広島県校友会 会長 斎藤周 工学部1978年卒	公認会計士法友会 会長 太田莊一 経済学部1977年卒	
法政大学校友会東京ブロック理事 東京都校友会 会長 山本富士哉 法学部1963年卒	法政大学校友会教職員ブロック理事 法政大学教職員校友会 会長 金子正之 工学部1964年卒	栃木県校友会 会長 寺内正毅 経営学部1963年卒	福岡県校友会 会長 中村勇治 法学部1993年卒		
法政大学校友会南関東ブロック理事 神奈川県校友会 会長 小針久 鎌倉法友会会長 経済学部1966年卒	法政大学校友会法政工業の会ブロック 法政大学公認会計士法友会 理事 石川正敏 経営学部1983年卒	山梨県校友会 会長 樋泉智男 社会学部1964年卒	熊本県校友会 会長 玉田光識 経営学部1976年卒		
法政大学校友会中部ブロック理事 愛知県校友会 会長 因田義男 法学部1968年卒	法政大学校友会スポーツ第1ブロック理事 法政大学体育会自転車競技部OB・OG会 会長 西島良男 経営学部1970年卒	岐阜県校友会 会長 井納誠 工学部1972年卒	宮崎県校友会 会長 甲斐嘗一郎 工学部1971年卒		
法政大学校友会関西ブロック理事 兵庫県校友会 副会長 三上隆 経営学部1978年卒		三重県校友会 会長 服部喜久男 経済学部1976年卒	沖縄県校友会 会長 糸数淳 法学部1983年卒		

謹 賀 新 年

法政大学並びに法政大学校友会の
さらなる発展を祈念いたします。

法政大学学部同窓会

法学部同窓会

会長 **池上 貞純**
<http://hosei-hodokai.jp/>

文学部同窓会

会長 **清原 孟**
事務局 F A X 03-3264-9840

経済学部同窓会

会長 **村田 紀敏**
<http://www.hoseikeiyukai.jp/>

理系同窓会

会長 **村主 康和**
<http://133.25.196.100/>

社会学部同窓会

会長 **中 正美**
<http://www.hoseisoc-dousoukai.jp/>

経営学部同窓会

会長 **岩井 昭**
<http://www.houseikeidousoukai.com/>

通信教育部校友会

会長 **米田 俊彦**
<https://hosei-tk.com/>



出身学部の同窓会にも、ぜひ注目とご参加を！



特集

法曹界で活躍する卒業生

ゴルディアスの結び目を解けるか

瀬戸 英雄 1970年法学部法律学科卒

弁護士 (LM 法律事務所 代表パートナー) / 一般社団法人事業再生実務家協会 代表理事 / 法政法曹会 会長



企業再生の話

かれこれ17年くらいになるが、年に一度市ヶ谷キャンパスを訪れ、法学部2年生を対象とする法律実務入門の「コマ」を講義している。この連続講座は、法律関連の職業に就く卒業生を講師に迎え、実務の生の声を聞かせることによって学生を啓発しようと金子征史法政大学名誉教授が始めたものである。取り上げるテーマは任せる。法学部生といえども、2年生は、まだ憲法、民法を学び始めたところ。会社法

も知らず、もちろん倒産法の知識などまったくない。しかし、法律を噛んで含めるように教えることは私の役回りでない。専門用語はできるだけ避けながらも、話のレベルは落とさず、わが国の産業構造と金融システムの歴史的な変化とそれに伴う再生メカニズムの進化に触れ、事業再生は法律・会計・税務・労務・経営・経済・政治・心理学等の社会科学の総合的実践の場、総合芸術であり、実にやり甲斐のある仕事だなど講義を垂れている。とはいえ、抽象的な制度論だけでは居眠りされてしまうので、具体例として、私が企業再生支援機構の委員長として再建に携わった日本航空における既得権益の盤根錯節、難題解決のエピソードなどを語る。学生は、真剣なまなざしで聴いてくれる。その

中から、法と経済、政治の力学とダイナミズムを感じ、プロフェッショナルな職業に関心を持つ者が一人でも多く出てくれれば幸いだ。

生時代だ。その頃の大学とは、何から何まで様変わりした。校舎は一新され、学びの舎として落ち着いた佇まいになった。女子学生が多くなり、男子学生も身ぎれいで行儀が良い。我々の学生時代よりずっと豊かでスマートだ。格差や世間の閉塞感に不満はあるようだが、それなら自分なりのスタイルでそれを突き破り、ゴルディアスの結び目を解いてもらいたい。若者にとって、無理だと言われることを成し遂げて見せることほど愉快なことはないのだから。

会から合格者に表彰状と奨励金が授与され、志を持って勉学に励んだ若き法政法曹に誇りを与えてくれていた。改めて感謝申し上げます。

居場所をくれた大学に感謝 私が弁護士を目指すことを決めたのは大学3年の冬でした。両親が交通事故に遭い、法律を知らないことで損をしている人がいるのではないかと思ったことがきっかけでした。勢いで大学4年時に司法試験を受験し、散々な結果を目にして、初めてとんでもないことに人生を賭けてしまったことに気が付きました。そこから本格的な受験生活が始まり、大学の法曹養成講座や

日弁連事務次長の仕事

杉村 亜紀子

1998年法学部法律学科卒
日本弁護士連合会 事務次長 / 弁護士



自習室をフル活用し、新しく大学院にできた司法試験受験生のためのコースにも通い、教えてくださった先生方や先輩方、一緒に勉強をした仲間たちや家族のおかげで、何とか合格することができました。不安を抱える受験生だった私に、居場所や仲間を作ってくれた大学にはとても感謝をしています。

日弁連での仕事

2002年10月に弁護士登録をして、気づけばもう20年以上。同じ仕事をしていれば飽きが来そうなものですが、新しいこと、初めてのことが絶えないもの仕事の魅力です。かく言う私は、新しいこととして、2022年2月に、日本弁護士連合会(日弁連)の事務次長に就任しました。

弁護士は、必ず地域の弁護士会に入会しなければならず、同時に日弁連にも登録します。つまり日弁連は弁護士の強制加入団体です。日弁連の役員のトップは会長ですが、事務機構のトップは事務総長であり、その下に事務次長が7名います。事務次長は、中間管理職のような立場と言えます。少しはイメージができませんでしょうか。

日弁連は、基本的な人権を擁護し、社会正義を実現するという弁護士の使命を果たすため、日本最大の人権NGOとして、人権擁護活動をし、法律相談などの法的サービスを市民に提供するだけでなく、民事司法・

大学に入学して初めて触れた法律

私は1978年4月に法学部に入りました。それまで文学部に入って将来は脚本家か小説家になりたいと思っていた私でしたので、法学に関する予備知識などあるはずもなく、入学と共に白紙の状態から手探りで始めたのが、その後、45年間、続けることとなった法律の勉強だったのです。幸い良き友に恵まれ



私の人生は法政大学と共に!

高須 順一

1982年法学部法律学科卒
弁護士 (法律事務所 虎 / 門法学舎所長) / 法政大学大学院法務研究科教授

生涯の師との出会い

そして、民法の研究者であった下森先生のゼミに入って民法を学ぶことがで

ました。司法試験を目指す学生によって組織されていた「鴻志会」という司法試験受験団体が法政にはあり、私もその会員になりました。当時、六番町にあった大学の施設の自習室で朝9時から夜9時までの12時間、勉強を続けました。この「鴻志会」での友との勉強を通じて、私は法学の初歩をマスターすることができました。

遠藤光男先生の下での弁護士人生

卒業後、司法試験に合格し、2年間の司法修習を経て、1988年4月、本学出身の大先輩である遠藤光男弁護士の法律事務所に入所し、弁護士としての第一歩を踏み出しました。昭和

最後の弁護士登録世代となります。弁護士としてのスキルとマインドは全て遠藤先生から教わりました。正義感に溢れ、同時に紛争の解決にあたっての大きな視点を失うことのなかった遠藤先生の仕事を、尊敬も、いつかは私も遠藤先生のような弁護士になりたいと思いました。遠藤先生は1995年から5年7ヶ月、本学出身の2人目の最高裁判所判事として多くの判例形成に関与しましたが、このときも先生の正義感と公平感覚は十二分に発揮されていたと思います。

法政大学に奉職して

このように私の人生は、常に法政大学と共にありました。ですから、1990年に本学法学部の兼任講師を依頼された際にも、そして、2004年に新設された法科大学院の専任教員を依頼された際にも二つ返事で承諾し、現在も母校における後輩の育成と弁護士としての職務遂行の二足の草鞋を、やり甲斐を感じながら続けさせていただいています。

まさに良き師と良き友に恵まれた人生であると実感しています。

刑事司法の改革、司法基盤の整備・拡充、次世代を担う法律家の養成などについての制度改革や法改正の提言など、実に様々な活動をしています。そのため、最高裁判所、法務省などの関係各庁や国会議員とのかわりも多く、基本的には、事務次長がその対外的な連絡窓口を担っています。

私の担当は、民事司法関係です。民事裁判は、今でも押印した書面をFAXで送るアナログな世界なので、ようやくIT化されることになりました。法制審議会での審議や国会での法改正が終われば、現在は、2025年度に始まる新しい裁判手続のシステムの在り方が検討されています。日弁連内で議論をしたり、最高裁や法務省と協議をしたり、利用者となる障害者の団体に意見を伺ったり。新しい制度、システムを作る大変さ、楽しさ、面白さを日々感じています。

また、法制審議会家族法制部会では、「共同親権」について熱い議論が行われています。弁護士として、離婚事件に携わり、会えない親子の哀しさも、DVや虐待で傷ついた子の辛さや不安も、両方を目の当たりにしてきました。結論を出す難しさを痛感しています。事務次長は、2年の任期を終えれば、通常の弁護士業務に戻ります。この2年間で私がどれだけ成長できたのか分かりませんが、より頼りがいのある弁護士になればと思っています。

法政スポーツ 注目の選手たち



バドミントン

10月7日から8日にかけて、愛知県名古屋市にて第74回全日本学生選手権（インカレ）団体戦が開催された。昨年ベスト4の法大男子は、今大会も順当に勝ち上がり準決勝に進むと、筑波大を下し昨年果たせなかつた決勝進出を決める。明大との対戦となった決勝も3-2で勝利し、8年ぶりに学生日本一に輝いた。

この林がつくった勢いに続いたのが、ダブルスの野田好希（人4）・中島巧（経4）組だ。第1ゲームは野田が鼻血のアクシデントに見舞われながらも、終盤に相手を突き放して勝利。しかし第2ゲームを落とし、勝負は最終ゲームに持ち込まれた。長いラリーを中島が決めれば、野田も鋭いスマッシュで得点を挙げる。筑波大ペアも粘りゲームはデュースまでもつれたが、最後は法大ペアの連続得点でゲームセット。決勝進出を決めると中島は拳を突き上げ、野田は飛び上がって喜びを爆発させた。

迎えた決勝の舞台では、後藤サン（社4）が意地を見せた。1ゲーム目を大差で落とすと、第2ゲームでも12-19と大きくリードを許す展開に。絶体絶命と言える状況でも、「焦りはなかった。ここまで来たら出し尽くそうと思っていた」と後藤。平常心を保ってプレーを続けると、次々にスマッシュが決まり追い付

くことに成功。22-21から最後もスマッシュで決め、大逆転でこのゲームをものにした。そのまま最終ゲームも奪い、チームに価値ある1勝をもたらした。

この後藤の勝利で波に乗った法大。続く野田・中島組がストレート勝ちを収め学生日本一に王手をかけると、最後は江頭桜空（デ3）・高柳大輔（キヤ3）組がフルゲームの戦いを制して悲願達成。充実感のあふれる表情で、選手たちは喜びを分かち合った。

今の4年生が法大に入学したのは、2020年春のこと。緊急事態宣言が発令され、1年次の大会は軒並み中止となった。不慣れな環境で先の見通せない日々を送る中、仲間との存在は大きかったという。主将の野

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。



令和5年度 法政・法政経済大学 第74回 全日本学生バドミントン選手権大会

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

田が「特に1年生、2年生の時は同期の支えがあったからこそまで来られた」と語れば、他の選手たちも同期に対する感謝の思いを口にした。学生最後の大会を終え、今後はそれぞれが別々の道を歩む。それでも、苦難を共に乗り越え栄冠をつかんだ彼らの絆は、決して断たれることはないだろう。

経験した昨年。上手くいかない時期もあったが、「落ち込んでいる暇があれば、練習する」と常に前向きに、食欲に練習に励んだ。弊会のインタビュート時にも、いかなる時も友好的かつ弾ける笑顔でインタビュートに応えてくれる彼女。「不撓不屈の精神で頑張る」と臨んだ今季、国際大会初戦となるフィンランド杯では準優勝を飾った。10月下旬には、GPシリーズが開幕。今冬は、法大から世界へ羽ばたく彼女の舞に注目だ。

吉岡。シニアの世界でも彼らしく伸び伸びと演舞することだろう。そんな世界で活躍する渡辺、吉岡を率いる法大フィギュアスケート部主将・平金桐（営4）。怪我で苦しんだ時期もあったが、今季から氷上に戻ってきた。練習は選手個人個人であるものの、部員同士は仲が良く、遠くにながら切磋琢磨する環境。国内外で活躍するスケーターが在籍する法大フィギュアスケート部、今後も活躍に期待したい。

吉岡。シニアの世界でも彼らしく伸び伸びと演舞することだろう。そんな世界で活躍する渡辺、吉岡を率いる法大フィギュアスケート部主将・平金桐（営4）。怪我で苦しんだ時期もあったが、今季から氷上に戻ってきた。練習は選手個人個人であるものの、部員同士は仲が良く、遠くにながら切磋琢磨する環境。国内外で活躍するスケーターが在籍する法大フィギュアスケート部、今後も活躍に期待したい。

吉岡。シニアの世界でも彼らしく伸び伸びと演舞することだろう。そんな世界で活躍する渡辺、吉岡を率いる法大フィギュアスケート部主将・平金桐（営4）。怪我で苦しんだ時期もあったが、今季から氷上に戻ってきた。練習は選手個人個人であるものの、部員同士は仲が良く、遠くにながら切磋琢磨する環境。国内外で活躍するスケーターが在籍する法大フィギュアスケート部、今後も活躍に期待したい。



西田大晟（社4）

西田大晟（社4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

大会初日は女子主将の庄司が得意の400m個人メドレーで5位入賞しチームに勢いをもたす。4年生の頑張りにより1年生も続き、インカレ初出場となった森田真心（現1）は200m背泳ぎで準優勝を果たした。2日目は、世界水泳でも活躍した三井愛梨（国1）が200mバタフライで貴族をみせるインカレ初V。男子では同種目で丹保陸（人2）が昨年の悔しさを晴らす銅メダル。4x100mフリーリレーでは男女共に入賞するなど大会前半から大きく、ポイントを積み上げていく。3日目はメダル獲得者こそ居なかったが、新チームの女子主将となった鴨下奈苗（社3）が初の決勝の舞台へと進み8位入賞。2日続けてリレー種目で男女共に入賞を果たし、着実に加点していった。

最終日は、昨年から不調が続いていた法大平泳ぎのエース山尾隼人（経4）がラストイヤーで悲願の準V。4年生が締めくくり、女子団体4位、男子団体8位と昨年の忘れ物であるシード権をともに奪還して激闘の4日間に幕を下ろした。「声」で仲間を送り、泳ぎ



渡辺倫果（通経3）

渡辺倫果（通経3）は、青森山田高等学校出身で3アクセルを武器に戦うスケーター。昨季のロンバルディア杯で優勝すると、勢いはそのままにグランプリシリーズ（以下GPシリーズ）カナダ戦では初出場で初優勝を飾った。GPファイナル、四大陸選手権、世界選手権と数々の世界最高峰の舞台を

吉岡は、西宮甲英高等学校出身で精度の高いジャンプを安定して着水するスケーター。昨季はジュニアグランプリシリーズ（以下JGP）チェコ大会にて優勝すると、全日本ジュニア選手権でも優勝。JGPファイナルや世界ジュニア選手権に出場する等、世界のトップスケーター・登竜門となる大会で次々に結果を残した。今季からはシニアに移行。そのデビュー戦・トリグラフトロフィーでは見事優勝を飾った。先日のロンバルディア杯では5位入賞し、シニアでも彼の堂々たる演舞は健在。渡辺同様、GPシリーズに挑む

武田和馬（社3）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

武田和馬（社3）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。



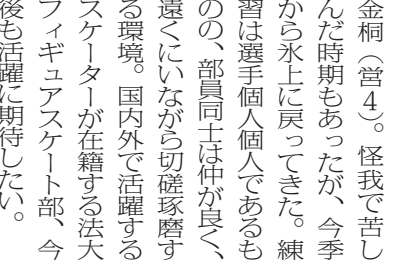
吉岡希（通経2）

吉岡希（通経2）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

吉岡希（通経2）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

吉岡希（通経2）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

吉岡希（通経2）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

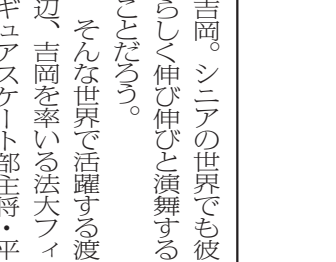


庄司朋世（スポ4）

庄司朋世（スポ4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

庄司朋世（スポ4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

庄司朋世（スポ4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。



稲毛崇斗（社4）

稲毛崇斗（社4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

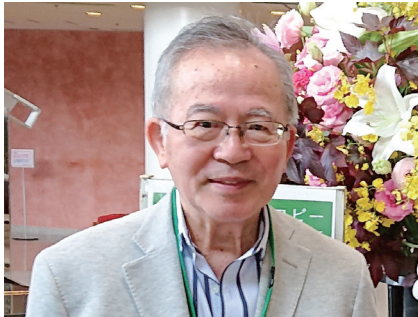
稲毛崇斗（社4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

稲毛崇斗（社4）は、昨年の日本学生選手権（以下・インカレ）で男女共に今年の団体シード権を落とし、「STRONG REVIVAL」をテーマに強い法政の復活に向けて練習を積み重ねてきたこの1年。西田大晟（社4）、庄司朋世（スポ4）の両主将が率いたチームの集大成となる今年のインカレが、8月31日から9月3日に東京アクアティクスセンターで行われた。

法政スポーツを
支援してくださる篤志家

「法大」「西東京」のご縁で、
二つ返事 アスリート支援で

多摩北部支部長
元角昌三さん



元角昌三さん

プロフィール
1947年北海道生まれ、1970年法政大学経済学部卒業。1978年三和建築株式会社(東京都西東京市)を設立、2014年会長。同社はUR都市機構他、建築物の大規模修繕工事を中心に躍進。現在最も力を入れている事業は、菅首相(73年法学部卒)が提唱している「カーボンニュートラル」関連。2050年に向けての最大課題をクリアすべく、建物の外断熱方式の推進やEV充電設備の増強などに注力。目標は、日本で一番必要とされる省エネ改修会社。

法政大学校友会 多摩北部支部長・三和建築(株)会長 元角(げんかく)昌三さんは、2023年10月、フィギュアスケート(女子シングル)のホープとして3アクセルを武器に戦う渡辺倫果さん(通信教育部経済学部在学中)の正式スポンサーになりました。

元角さんがなぜ引き受けたかという点、渡辺さんが所属するIMG(インターナショナル マネージメントグループ・オーヴァーシズ)と東京支社のシニアマネージャーより、共通の友人を通して依頼があったからだそうです。「法政大学」「西東京」とあれば、二つ返事で承諾する方が多いからなの

走)も3位以内からは程遠い成績でした。しかし、他校は駅伝に相当な予算が充てられているとお聞きしています。ほとんどの大学は駅伝を通じてブランド力の強化を図っているのではないのでしょうか?でも、法政大学にはそれが無い。にもかかわらず2024年1月の第100回箱根駅伝ではシード校です。実は相当ポテンシャルを秘めた選手たちだと思いました。「地味に強い」ところが魅力的ですね。

若者は焼き肉が好きです。若者には、何より、みんなと和気あいあいと食べることをチームに一体感が生まれるのではないのでしょうか。そういえば長野県校友会も毎年、合宿に差し入れをして、学生はモチベーションを上げているようです。

これまでで一番印象に残ったレースはどれですか? 2022年からのスポンサーですので、それ以降のレースになりますが、2023年の第99回箱根駅伝9区で、中園慎太郎選手が一瞬3位になった時ですね。あれにはビックリしました。と言いますのも、3位以内にゴールした選手がいた場合、監督と選手1人につきそれぞれ100万円の報奨金を出すと言っていましたので(1位の選手には300万円)(笑)。

それは、がぜん「やる気」が出ますね。これまでで一番印象に残っている選手は誰ですか。 2022年の出雲駅伝3区を走った内田隼太選手です。というのも、走行中に途中から笑っていたんです。普通、緊張で顔がこわばるじゃないですか。あとで坪田監督から、走行中に笑うというのはコンディションが良い証拠だとお聞きし、なるほどと思いました。

「わが部の活躍は、貴医にも良い影響を及ぼしていますか。」 羅田 もろんです。実際のところ法政大学の所在地は町田市ですが、八王子市との市境にあります。なので、八王子市民の多くは、法政大学が地元(の)大学であるという認識をもっています。そのため、法政大学を応援している地元の「きぬた歯科」ということで、イメージアップにつながっています。きぬた歯科のスタッフたちも法政大学の一員になった気持ちで、駅伝チームの活躍から元気をもらっています。

本日は貴重なお話を頂戴し、誠にありがとうございました。 羅田 2022年からのスポンサーですので、それ以降のレースになりますが、2023年の第99回箱根駅伝9区で、中園慎太郎選手が一瞬3位になった時ですね。あれにはビックリしました。と言いますのも、3位以内にゴールした選手がいた場合、監督と選手1人につきそれぞれ100万円の報奨金を出すと言っていましたので(1位の選手には300万円)(笑)。

「地味に強い」が魅力的
—陸上競技部長距離部門のスポンサーにインタビュー—



羅田泰和さん

(きぬた歯科さんのウェブサイトから)

プロフィール
羅田泰和(きぬた やすかず)さん
1966年栃木県足利市生まれ
栃木県立足利高等学校卒業
日本歯科大学新潟生命歯学部卒業
1996年JR中央線西八王子駅南口前で、きぬた歯科を開業

さて、きぬた歯科医院さんはユニフォームスポンサー契約を2022年9月27日付で締結されていますが、それ以前からも本学陸上競技部長距離(駅伝)部門をご支援いただいているのでしょうか。

羅田 初めまして、きぬた歯科院長の羅田です。本日はよろしくお願ひいたします。

—院長にとって、法政大学の駅伝チームの魅力とは何ですか? 羅田 駒沢や青山に代表されるエリート集団ではないということです。実際、伊勢路(全日本大学駅伝対校選手権大会)では出場権を逃していますし、出雲(出雲全日本大学選抜駅伝競

走)も3位以内からは程遠い成績でした。しかし、他校は駅伝に相当な予算が充てられているとお聞きしています。ほとんどの大学は駅伝を通じてブランド力の強化を図っているのではないのでしょうか?でも、法政大学にはそれが無い。にもかかわらず2024年1月の第100回箱根駅伝ではシード校です。実は相当ポテンシャルを秘めた選手たちだと思いました。「地味に強い」ところが魅力的ですね。

これまでで一番印象に残ったレースはどれですか? 2022年からのスポンサーですので、それ以降のレースになりますが、2023年の第99回箱根駅伝9区で、中園慎太郎選手が一瞬3位になった時ですね。あれにはビックリしました。と言いますのも、3位以内にゴールした選手がいた場合、監督と選手1人につきそれぞれ100万円の報奨金を出すと言っていましたので(1位の選手には300万円)(笑)。

それは、がぜん「やる気」が出ますね。これまでで一番印象に残っている選手は誰ですか。 2022年の出雲駅伝3区を走った内田隼太選手です。というのも、走行中に途中から笑っていたんです。普通、緊張で顔がこわばるじゃないですか。あとで坪田監督から、走行中に笑うというのはコンディションが良い証拠だとお聞きし、なるほどと思いました。

「わが部の活躍は、貴医にも良い影響を及ぼしていますか。」 羅田 もろんです。実際のところ法政大学の所在地は町田市ですが、八王子市との市境にあります。なので、八王子市民の多くは、法政大学が地元(の)大学であるという認識をもっています。そのため、法政大学を応援している地元の「きぬた歯科」ということで、イメージアップにつながっています。きぬた歯科のスタッフたちも法政大学の一員になった気持ちで、駅伝チームの活躍から元気をもらっています。

本日は貴重なお話を頂戴し、誠にありがとうございました。 羅田 2022年からのスポンサーですので、それ以降のレースになりますが、2023年の第99回箱根駅伝9区で、中園慎太郎選手が一瞬3位になった時ですね。あれにはビックリしました。と言いますのも、3位以内にゴールした選手がいた場合、監督と選手1人につきそれぞれ100万円の報奨金を出すと言っていましたので(1位の選手には300万円)(笑)。

近年、箱根駅伝などで好成績を残している法政陸上競技部。その長距離部門にユニークな看板広告で有名な「きぬた歯科」がスポンサーになっているのを知り、羅田泰和院長にメールでインタビューしました。スポンサーを買って出た理由や印象に残っている選手

などについて、「法政愛にあふれた」コメントをいただきました。

(収録日:2023年10月26日、収録方法:電子メール、聞き手:校友会広報部長 勝又秀雄)

—このたびはお忙しい中、お時間をいただき誠にありがとうございます。

中央大学、創価大学、帝京大学と、八王子には駅伝強豪校がひしめいている中で、本学のスポンサーになつていただいたのは非常に光栄なことです。

理由は何でしょうか。 羅田 当院のすぐ目の前に、法政大学行きのバス停があります。開業以来この28年間、学生さんたちを毎日見ていたのが親近感があるからです。

—院長にとって、法政大学の駅伝チームの魅力とは何ですか? 羅田 駒沢や青山に代表されるエリート集団ではないということです。実際、伊勢路(全日本大学駅伝対校選手権大会)では出場権を逃していますし、出雲(出雲全日本大学選抜駅伝競

走)も3位以内からは程遠い成績でした。しかし、他校は駅伝に相当な予算が充てられているとお聞きしています。ほとんどの大学は駅伝を通じてブランド力の強化を図っているのではないのでしょうか?でも、法政大学にはそれが無い。にもかかわらず2024年1月の第100回箱根駅伝ではシード校です。実は相当ポテンシャルを秘めた選手たちだと思いました。「地味に強い」ところが魅力的ですね。

これまでで一番印象に残ったレースはどれですか? 2022年からのスポンサーですので、それ以降のレースになりますが、2023年の第99回箱根駅伝9区で、中園慎太郎選手が一瞬3位になった時ですね。あれにはビックリしました。と言いますのも、3位以内にゴールした選手がいた場合、監督と選手1人につきそれぞれ100万円の報奨金を出すと言っていましたので(1位の選手には300万円)(笑)。

それは、がぜん「やる気」が出ますね。これまでで一番印象に残っている選手は誰ですか。 2022年の出雲駅伝3区を走った内田隼太選手です。というのも、走行中に途中から笑っていたんです。普通、緊張で顔がこわばるじゃないですか。あとで坪田監督から、走行中に笑うというのはコンディションが良い証拠だとお聞きし、なるほどと思いました。

第2次岸田内閣の本学出身の政務三役

文部科学副大臣

青山周平さん



青山周平衆議院議員

プロフィール
1977年、愛知県岡崎市生まれ。岡崎高校、2000年法政大学社会学部(ラグビー部所属)卒。実家の幼稚園経営に携わった後、2012年の衆院選で愛知12区から自民党公認で出馬して初当選。文部科学大臣政務官など歴任。現在4期目。46歳。

この度、文部科学副大臣に就任し、教育とスポーツの分野を担当することになりました。

昨今、子どものいじめや不登校、自殺が増えてきています。この対策は喫緊の課題です。子どもたちに配布されている学習用端末を活用して、早期に発見してケアしていくなど、様々なやり方を駆使しながら不幸な事例をつくらないように尽力してまいります。

また、きぬた歯科医院様をはじめとした同部への寄付金全体額も右肩上がりです。毎年記録を更新しています。読者の皆さまにおかれましては、これからも変わらぬご支援を賜れば幸甚に存じます。

私たち校友会は、選手たちがさらなる努力研鑽に励んで、競技に勝つだけでなく、人間的にも成長し、社会に貢献してほしいと願っています。

皆さま、引き続き陸上競技部を応援してまいりましょう。

ていく必要があると思います。スポーツ担当の副大臣として、2026年のアジア競技大会とアジアパラ競技大会(愛知・名古屋大会)については、地元開催なので「盛り上げていかなければ」と強い意気込みを持っています。レガシーを残し、スポーツ選手が目標としてくれるような大会にしたいと考えております。トヨタなどの製造業が盛んで、世界と産業のつながりが強い愛知で実施する意義は大きいと思います。

副大臣として、大臣をよく補佐し、日本の将来を担う人を育てる教育の再生、国家戦略としてのスポーツの振興の取り組みに全力を尽くしてまいります。

環境大臣政務官

朝日健太郎さん



朝日健太郎参議院議員

プロフィール
1975年9月熊本市生まれ、1998年法政大学経営学部卒業。大学時代の1995年にバレーボール全日本大学選手権で優勝。在学中に全日本代表にも選出。大学卒業後はサントリーに入社。2000年から2002年にかけてVリーグでチーム3連覇に導く。2002年ビーチバレーに転向。2008年北京オリンピック、2012年ロンドンオリンピックに出場。

2022年7月の参議院議員通常選挙東京選挙区でトップ当選を果たした朝日健太郎参議院議員(2期目)に続き2回目です。

朝日政務官は、菅首相が策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」(注)を宣言しました。

(広報委員 石毛利雄)

の実現に向けて、その中心的役割を担っております。(注)「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」とは、菅義偉前首相(1973年法学部卒)は在任中の2020年10月に地球温暖化対策として、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定し、脱炭素社会実現を目指すことを宣言しました。

第29回法政大学全国卒業生の集い 倉敷大会
―ジュニア会が運営主体で岡山は2回目―



司会の坂井亮太氏と千神彩花氏

「全国卒業生の集い」を岡山県で開催するのは1998年と今回で2回目です。3回目もやりたいというほど熱のこもった支部です。第29回法政大学全国卒業生の集い「倉敷大会」は、11月3日（金）から5日（日）の日程で開催されました。「晴れの国おかやま」といわれるとおり、3日間とも好天に恵まれ、全勢の観光客でにぎわった倉敷美観地区の倉敷アイビースクエアで式典と懇親会を開催。県外から380名の参加者を含む総勢470名で会場の定員を超え、別室を用意するなどして盛大に執り行われました。司会進行は、地元山陽放送アナウンサーの千神彩花さん（2017年文学部卒）と、同局アナの坂井亮太さん

（2018年度経営学部卒）の2代ペアが明るく元気に務めました。2人は法大自主マスコミ講座の先輩後輩で、息もピッタリでした。記念講演は、「大原美術館で考える」と題して、大原美術館代表理事の大原あかねさんにお話いただきました。アトラクションは「倉敷天領太鼓の演奏」「倉敷素隠居（すいんきょ）保存会による伝統仮装」「岡山うらじゃ連「四季」による演舞」が披露され、会場を大いに盛り上げてくださいました。

会の締めくくりには、コロナ禍のように肩を組み合って校歌を朗々と歌い、中には感極まって涙する卒業生もいました。翌5日は、「晴れの国おかやまエクスカーション」が企画され、80名が瀬戸内の多島美を満喫しました。4日は、外国人を含む大勢の観光客でにぎわった倉敷美観地区の倉敷アイビースクエアで式典と懇親会を開催。県外から380名の参加者を含む総勢470名で会場の定員を超え、別室を用意するなどして盛大に執り行われました。司会進行は、地元山陽放送アナウンサーの千神彩花さん（2017年文学部卒）と、同局アナの坂井亮太さん

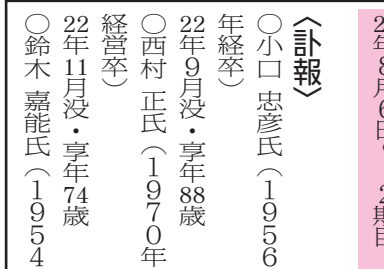


ジュニア会会長 高橋雄大氏

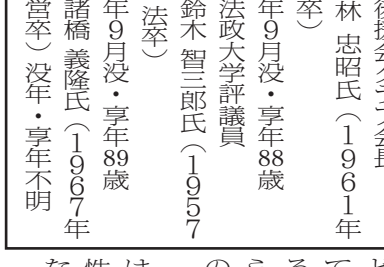
「1994年に岡山県校友会の下部組織としてジュニア会を設立しました。45歳以下で組織し、現在は20名程度が会員となっています。年次行事として、春や秋のBQ大会、六大学ゴルフ大会、トマト銀行主催のリレーマラソン大会などに参加し、家族を含めて楽しい思い出をつくり卒業生の輪を広げています。活動に参加して大いに盛り上がり、良い思い出をつくり帰ってもらえるように心がけています。」

会員獲得のために、西康宏県校友会会長が先輩方がネットワークを駆使して勧誘いただき、45歳以下であればジュニア会に加盟する形となっています。ジュニアとシニアは分断することなく、過干渉もせず、程良い距離感を持ちつつ、いざという時は協力し合うという不即不離の関係を保っています。

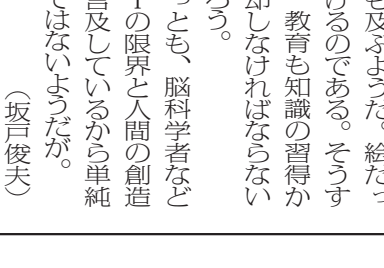
ジュニア会の会長の高橋雄大氏も校友会の副会長という位置付けで、岡山県校友会全体の役割に就いていて、連携を密にしています。



西康弘岡山県校友会会長と役員一同



大原美術館代表理事 大原あかね氏の記念講演



アトラクション「倉敷天領太鼓」

地方支部が抱える問題点 近年、法政大学の入学者が関東圏に集中し、地方からの入学者が激減し母数そのものが著しく減少しています。岡山も例外ではありません。自分のつながりの中から知り得た情報を基に、後から気が付いて入っていた卒業生もいますが、ジュニア層では最近はまだ少ないようです。

たまたま転勤族で数年間は岡山に、という卒業生がいます。そういう方も懇親会に誘い、また岡山に戻って来たら岡山県校友会に入っ

てほしいと勧誘していただいています。個人情報保護の観点から、支部が一方的に自宅住所等を手配するのは困難なので、校友会事務局（大学）側からアナウンスをしてほしいと要望がありました。また、活動やイベントの中心は岡山や倉敷などの都市部が中心にならざるを得ず、これは他県も同じ悩みかと思えます。

通信費などは経費節減のために、ジュニア会がグループLINEを利用しています。シニアの方ともLINEでつながっており、

これからはその方向に進むという事でした。今後は仕事に生かせるようなセミナーを開催するほか、地域貢献活動にはオレンジ色のユニフォームを着て参加し、法政大学卒業生がこういう活動している、自分も一緒にやりたいなど思ってもらえるように活動していきたいと考えています。

コロナ禍で停滞していましたが、今回の倉敷大会を契機に、ジュニア会はかつての熱気・結束を取り戻せたと熱く語っていました。（文 勝又秀雄）

〈訃報〉
○小口 忠彦氏（1956年経卒）
22年9月没・享年88歳
○西村 正氏（1970年経卒）
22年11月没・享年74歳
○鈴木 嘉能氏（1954

○山梨県大月市長 小林 信保氏（こばやし・のぶやす） 88年工学部卒
23年8月6日、2期目

〈知事・市長〉
○山梨県大月市長 小林 信保氏（こばやし・のぶやす） 88年工学部卒
23年8月6日、2期目

○林 忠昭氏（1961年経卒）
23年9月没・享年88歳
元法政大学評議員
○鈴木 智三郎氏（1957年法卒）
23年9月没・享年89歳
○諸橋 義隆氏（1967年経卒） 没年・享年不明

〈叙位・叙勲〉
瑞宝中綬章
大森 健児氏（法政大学名誉教授）
中野 久松氏（法政大学名誉教授）
瑞宝小綬章
堀上 英紀氏（法政大学名誉教授）
寺内 正毅氏（元公立高等学校長） 63年経営学部卒
法政大学校友会栃木県校友会会長 代表議員

旭日单光章
秋元 義彦氏（元株式会社パン・アキモト代表取締役） 76年経営学部卒
法政大学校友会栃木県校友会那須野ヶ原支部支部長

23年6月没・享年不明
○加藤 正男氏（1958年工卒）
23年6月没・享年87歳
○大橋 健浩氏（1965年文卒）
23年7月没・享年80歳
○押山 憲昭氏（1985年文卒）
23年7月没・享年60歳
元法政大学後援会会長
前後援会クラブ会長
○林 忠昭氏（1961年経卒）
23年9月没・享年88歳
元法政大学評議員
○鈴木 智三郎氏（1957年法卒）
23年9月没・享年89歳
○諸橋 義隆氏（1967年経卒） 没年・享年不明

最近AIに関する報道を目にすることが多い。現在は第3期のブームだそうである。今までは便利についての評価だったように思うが、今回のブームは社会そのものを変えるのではないかと、AIが人に代わって社会を動かすのではないかとの論点が目立つ。

正にSFの世界が傍まできているかのようだ。人の知識の集積がAIで置き換わると、知識主体の業種には人が要らなくなりそうな勢いである。例えば法律家は膨大な法律、判例などから結論を出すことが多いが、この手の作業はAIの得意分野である。

生成AIでは相当な文書が出来てしまうし、企画などにも及ぶようだ。絵だって描けるのである。そうすると、教育も知識の習得から脱却しなければならぬのだろう。

もっとも、脳科学者などはAIの限界と人間の創造性に言及しているから単純な話ではないようだ。（坂戸俊夫）

編集後記
最近AIに関する報道を目にすることが多い。現在は第3期のブームだそうである。今までは便利についての評価だったように思うが、今回のブームは社会そのものを変えるのではないかと、AIが人に代わって社会を動かすのではないかとの論点が目立つ。

正にSFの世界が傍まできているかのようだ。人の知識の集積がAIで置き換わると、知識主体の業種には人が要らなくなりそうな勢いである。例えば法律家は膨大な法律、判例などから結論を出すことが多いが、この手の作業はAIの得意分野である。

生成AIでは相当な文書が出来てしまうし、企画などにも及ぶようだ。絵だって描けるのである。そうすると、教育も知識の習得から脱却しなければならぬのだろう。

もっとも、脳科学者などはAIの限界と人間の創造性に言及しているから単純な話ではないようだ。（坂戸俊夫）

54年目のクラス会

倉敷の「全国卒業生の集い」が、岡山在住のAさんとの54年目の邂逅（かいこう）の契機となった。私たちは1969年卒業で経営学部Jクラス。時々東京でクラス会を開いていたが、これまでAさんは岡山だけでなくカナダ・バンクーバーなどでも暮らしていたため、出席できていなかった。この全国大会が倉敷に決まった時に、幹事役のB君が集まろうと呼びかけ、C君と私とで4人のミニクラス会へと準備が整った。

全国大会ではAさん、B君、C君がたまたま同じテーブルで語り合ったが、本番のクラス会は翌日。岡山で介護事業を営んでいるAさんのデイサービス事業所を見学の後、Aさんのお宅で手厚いもてなしを受けながら旧交を温めた。授業の話、仲間の消息など時間の経つのを忘れて過ごしたのだ。東京でのクラス会への出席を強要するB君に対し、ずっと岡山にとどまっているAさんにも考える余地はありそうだった。

長らく会わなかったが縁をつないだのはB君のおかげである。クラスのまとめ役として連絡を絶やさず、またAさんも返信を欠かさなかったからである。

来年の大会は秋田。さてどんな出会いが待っているのだろうか。（坂戸俊夫）

「法政大学校友会」
終身会員加入手続きのご案内

2013年度卒業生より、全員が校友会終身会員として加入しています。若手会員が増え、校友会が活性化しております。2012年度以前の卒業生で、終身会員未加入の卒業生の皆さんは、是非この機会にご加入の手続きをお願いいたします。

終身会費 3万円

(卒業後、50年を経過されている方は1万5千円)

2024年4月1日申し込み分より、終身会費3万円の支払い方法を下記の通りといたします。

①一括払い ②年額1万円の3年分割払い

なお現在、6年分割、10年分割でお支払いいただいている方の支払い方法に、変更はありません。

問合せ先：校友会事務局
TEL:03-3264-1831 FAX:03-3264-4770
MAIL:jimukyoku@hoseinet.or.jp